

育成モノづくり人材

Vol. 12

愛知県立愛知工業高校

愛知県の工業高校で最も古く、創立115年目を迎えた。6学科



蜂須賀校長

で県の主要製造業を力に、卒業生の4分の3に当たる就職希望者は就職率100%。就職先は県内の大手製造業が中心だ。「産業界の期待にこ

研究部、失敗含め経験蓄積

たえ、実践的な工業人を育てる」と蜂須賀校長は説く。単位の半分を専門科目とし、実習も基本を重視。例えば電子機械科ではマシンニングセンターより、

な工業系資格を取得し、学んでほしい」と蜂須賀校長。5月に化学工業科の研究部が高校生による自作電気自動車レース(愛知県豊橋市)に、6月には電子

リン1000での走行距離を競うエコカー大会(三重県鈴鹿市)に出場した。ロボット競技旧県立東山工業高校跡地(名古屋市千種区、

村国哲也) (名古屋編集委員・金曜日に掲載)

【DATA】▷校長=蜂須賀豊氏▷所在地=名古屋市北区▷学科構成=電子機械科、電気科、情報技術科、建設科、化学工業科、デザイン科(以上全日制)、ものづくり科(1・2年定時制)、電子機械科(3・4年定時制)、建築科(同)▷定員=全日制320人、定時制40人▷実習設備=工作機械、各種検査装置、CAD、コンピューターなど▷主な進路=14年度の主就職先は愛知県に本社や工場を置く主要上場企業と協力会社。進学は愛知県立大など国公立大3人、名城大など私立大29人、短期大学5人、専門学校36人



自作電気自動車のレースに出場する化学工業科の研究部

11年閉校)に「愛知総合工科高校」を新設する。愛知工業高校名義の新入生は今年が最後。今の1年生が卒業すれば現校舎も閉鎖する。少子化にあわせた両校の統合だ。

「最新の実習設備も整備され、技術や産業の変化に対応できる」と蜂須賀校長は新設校に期待する。一方で「変えてはいけない伝統もある」と強調。

「実践的な工業人を育てる基本姿勢は引き継がれる」と確信する。(名古屋編集委員・村国哲也)